K1M-A-26041A

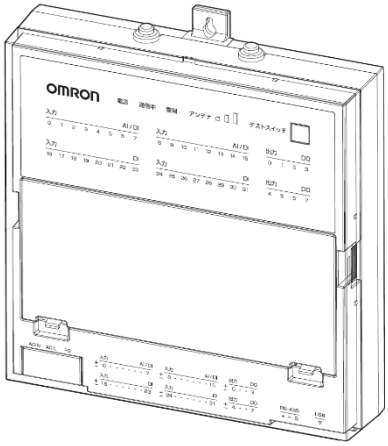
OMRON

ALLwatch®

遠隔監視通報装置

AMT900
設置マニュアル

本機を正しく安全に設置、ご使用いただくため、
設置前に必ず本書をよくお読みください。



目　次

1. ご使用に際してのご承諾事項とお知らせ ---------- 2
2. 安全上のご注意とお願い ---------- 3
3. 梱包内容 ---------- 5
4. 各部の名称とはたらき ---------- 6
5. 設置・接続方法 ----------8
6. 入出力回路について ----------14
7. 外部アンテナについて ----------15
8. 増設について ----------16
9. 廃棄方法と電池のリサイクル ---------- 17
10. よくある質問(FAQ) ----------18
11. オプション品 ----------18
12. 主な仕様 ----------19
13. お問い合わせ先 ----------21

1. ご使用に際してのご承諾事項とお知らせ

ALLwatchサービスにおいてご利用いただく機器（以下「ALLwatch端末等」といいます。）に関し、以下の保証内容および適合用途の条件をご確認ください。なお、適合用途の条件から逸脱した利用を行った場合には、ALLwatchサービスの提供が出来なくなる可能性がございます。

1.保証内容

(1).保証期間

ALLwatch端末等の保証期間は、ご購入後またはご指定の場所に納入後1年間とし、どちらか早期に期間が満了する日までといたします。

(2).保証範囲

保証期間内に当社側の責に帰すべき事由によりALLwatch端末等に故障を生じた場合は、代替品の提供または故障品の修理を無償で実施いたします。ただし、故障の原因が次のいずれかに該当する場合は、本保証の対象外といたします。

1.カタログまたはマニュアルなどに記載されている条件・環境・取り扱い方法以外での使用による場合
2.ALLwatch端末等以外の原因の場合
3.当社以外による改造または修理による場合
4.当社出荷時の科学・技術の水準では予見できなかった場合
5.その他、天災、災害など当社に帰すことのできない事由による場合

なお、本保証は、ALLwatch端末等の保証（仕様に定める機能を満たすこと。）を意味するものであり、ALLwatch端末等の故障に起因してお客様に生じる損害については、本保証の対象外とします。

(3).保証請求の手続

お客様は保証をお求めになる場合、購入証明書その他当社が指定する資料を提示しなければならないものとします。
また、当社は故障原因調査等のため、お客様に必要な情報の提供を求めることができるものとします。
なお、当社が故障品の返却を求めた場合、お客様はこれに応じるものとします。
故障品の送付費用はお客様負担とし、修理品または代替品の返送費用は当社負担とします。

2.責任の制限

保証内容に記載されている事項を除き、当社およびALLwatch端末等の販売店は、法律上許される限り一切の責任を負わないものとします。

3.適合用途の条件

(1). ALLwatch端末等を他の商品と組み合わせて使用される場合には、お客様において適合すべき規格・法規または規制をご確認ください。
また、ALLwatch端末等のお客様が使用されるシステム、機械、装置への適合性は、お客様の責任においてご確認ください。

(2). ALLwatch端末等は、一般工業製品向けの汎用品として設計製造されています。従いまして、次に掲げる用途での使用は意図しておらず、お客様がこれらの用途に使用される際には、当社は一切の保証および責任を負いません。
なお、ALLwatch端末等を利用したサービスにつきましては、別途定めるサービスに関する規約の定めに従うものとします。

a.屋外の用途、潜在的な科学的汚染あるいは電気的妨害を被る用途、あるいはカタログまたはマニュアルなどに記載のない条件や環境での使用
b.原子力制御設備、焼却設備、鉄道・空港・車両設備、医用機械、娯楽機械、安全装置、および行政機関や個別業界の規制に従う設備
c.人命や財産に危険が及びうるシステム・機械・装置
d.ガス、水道、電気の供給システムや24時間連続運転システムなど高い信頼性が必要な設備
e.その他、上記a～dに準ずる、高度な安全性が必要とされる用途

(3). ALLwatch端末等が正しく使用されないことにより、お客様または第三者に不測の障害が生じることのないよう、使用上の禁止事項および注意事項をすべてご理解のうえ遵守してください。

4.適用範囲

本保証内容は、日本国内での取引および使用を前提とし、日本国内においてのみ提供されます。日本国外では使用できません。

5.変更の適用

(1). 当社は、法令の制定改廃、その他の理由により必要と認めるときは、本ご承諾事項を変更することができます。この場合、当社は変更後の本ご承諾事項について当社サイト上に１か月間表示し、同期間が経過した時点をもって変更を適用いたします。

(2). 本ご承諾事項に変更が生じた時点で既に出荷済みの製品に対しては、出荷時点の版の内容が適用されるものとします。

6.その他

・本製品はLTE回線を利用した通報装置です。

(1). 回線トラブル、電波障害、迷惑メール対策等により通報できなくても、当社では責任を負いかねます。
また、通報先を携帯電話に設定した場合、通報先電話が圏外あるいは電源が入っていない等により通報されなくても、当社では責任を負いかねます。

(2). 医療用機器や高精度な制御、微弱な電波を取り扱う製品の近くで使用すると、誤動作や故障の原因となる恐れがありますので、そのような場所では使用しないでください。

(3). 航空機内および病院などの使用を禁止された区域では使用しないでください。航空機内での使用など禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

・本製品の配線作業には電気工事士の資格が必要です。

おことわり

(1). 本設置マニュアルの一部または全部を無断で複写、複製、転載することを禁じます。
(2). 本製品（付属品を含む）および本設置マニュアルの内容に関しては、改良のため予告なしに仕様等を変更することがありますので、予めご了承ください。
(3). 本設置マニュアルの内容に関しては万全を期しておりますが、万一誤りやご不明点などお気付きのことがありましたら、お手数ですが巻末のお問い合わせ先までご連絡ください。
(4). 本設置マニュアルに掲載しているイラストには若干の相違がある場合がございますが、ご了承ください。

著作権・商標について

●UIM カードは株式会社NTTドコモの製品です。
●その他、本文中に掲載しているシステム名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
●本設置マニュアルの著作権はオムロンソーシアルソリューションズ株式会社にあります。

2. 安全上のご注意とお願い

■ 安全確保のための警告表示

本機を安全にご使用いただくために、注意事項を次のような図記号と共に取扱上の注意点を記載しています。注意事項は安全に対する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告図記号とその意味

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると人が軽傷を負ったり、物的損害を受ける可能性が想定される内容を示しています。

一般注意図記号とその意味

	してはいけない「禁止」を意味しています。
	必ず実行していただく「強制」を意味しています。
	「アース線の接続が必ず必要」であることを意味しています。
	「分解禁止」を意味しています。

■ 使用上のご注意

⚠ 警告

D種接地（第3種接地）など適切な設置がなされている電源を使用する。 接地不良は感電や故障の原因になります。	
必ず電源を切った状態で配線する。感電や故障の原因になります。	
端子や配線を濡れた手で触らない。感電の原因になります。	
分解や改造をしない。 感電や火災、故障の原因になります。	
停電通報用内部電池は以下のような取扱いをしない。 液漏れ、破裂、発熱、発火により、火傷やけがの原因になります。 ・ショート（短絡）させない。濡らさない。 ・釘差し、加圧変形、強い衝撃を与えない。 ・分解、改造、直接ハンダ付けしない。 ・火中に投入しない。	

2. 安全上のご注意とお願い（つづき）

⚠ 注意

本機内部に金属類、液体類や紙類などの燃えやすいもの、異物を入れない。 回路ショートにより、誤動作や故障、感電の原因になります。	
通電中は手やドライバー等の工具で端子に触れない。 感電の原因になります。	
停電通報用内部電池の取扱いについては以下を守る。 ・変形（ふくれ）、液漏れ、異臭、発熱等今までと異なることに気づいたときは、使用を中止する。 ・主電源が入った状態で電池交換しない。 ・電池の液が目に入った場合は、失明の恐れがあるため、直ちにきれいな水で十分洗い流した後、医師の治療を受けてください。 また、皮膚や衣服についたときは、皮膚に傷害をおこす可能性があるため、直　ちにきれいな水で洗い流してください。	

■ 取り扱い上のお願い

- 本体背面には機器取付用のマグネットが装着されています。電子機器、磁気カードなど磁気に影響を受けるものを近づけないでください。
- 端子番号、極性を確認し、正しく配線してください。誤って配線すると内部の部品破壊、焼損の原因になります。
- 入力端子に接続する機器は、電圧、電流仕様を守ってください。仕様外の機器の接続は故障、誤動作の原因になります。
- 仕様の範囲内の温度、湿度で使用、保管してください。
- 次のような環境では使用しないでください。
  - 静電気やノイズを受けるところ
  - 水やほこりの入るところ
  - 引火性ガス、腐食性ガス（Cl2、H2S、NH3、SO2、NOx等）のあるところ
  - 発熱する機器の近く
  - 直射日光が当たるところ
- 設置にあたっては電波状況を確認ください。
- 出力端子に接続する負荷は、定格内で使用してください。
- 電源電圧は、仕様の範囲内で使用してください。
- 電源端子、ソケットコネクタのねじは確実に締め付けてください。ねじが緩むと故障、誤動作の原因となります。
- 清掃時にベンジン、シンナー、アルコール等は使用しないでください。汚れが気になる場合は水を含ませた柔らかい布をよく絞ってから拭いてください。
- 本機を廃棄する場合は、各地方自治体の規定に従ってください。

■ 停電通報用内部電池について

- ●電池には寿命が有ります（目安は2年ですが、使用条件により大幅に異なります）。定期点検時（2か月に1回程度）に停電通報ができることを確認してください。できなかった場合は、新品の電池（専用品）と交換してください。
- ●電池交換は、必ずパワースイッチをOFFにして行ってください。
- ●長期間使用しない場合は、電池を取り外し、高温多湿を避けて涼しい場所で保管してください。製品に接続したまま長期間通電しないと、電池が過放電状態となり電池寿命が短くなります。保管時の電池は6か月に1度充電を行ってください。
- ●電池の温度が－10℃未満、55℃以上になると充電されません。充電停止後は－5℃以上、50℃以下になると充電が再開されます。
- ●停電復帰後、電池が満充電になる前に再停電した場合は、停電通報が行えない場合があります。
- ●交換用の停電通報用内部電池のお求めの際は、「お問い合わせ先」（⇒**P.21**参照）までご連絡ください。

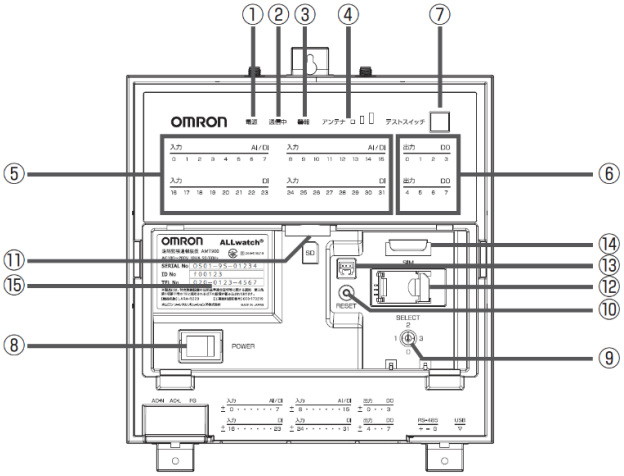
3. 梱包内容

箱の中には下記のものが同梱されていますのでご確認ください。
不足品、不良品がある場合は「お問い合わせ先」（⇒**P.21参照**）にご連絡ください。

- □ 本体（アンテナ端子キャップ、USBコネクタキャップ付）…… 1台
- □ 資料リンク一覧表…… 1枚
  （各種監視端末の設置マニュアルにアクセス可能なQRコード一覧）
- □ コネクタ目隠しラベル…… 1枚
- □ 停電通報用内部電池（形式：BAT-N001）…… 1個
- □ ソケットコネクター 16P（入力端子用）…… 4個
- □ ソケットコネクター 8P（出力端子用）…… 2個
- □ ソケットコネクター 6P（RS485端子用）…… 1個
- □ 終端抵抗 …… 1本
- □ （－）ドライバー …… 1個
- □ 取付用マグネット …… 3個
- □ 取付用木ねじ（3.1×15）…… 3個
- □ UIMカード（IC部分は取り外して本機に搭載済）…… 1個

接続ケーブルや圧着端子等の配線部材、外部アンテナ、SDカードは同梱されていませんので、必要に応じて別途ご用意ください。

4.各部の名称とはたらき



本体正面（外カバー、内カバーを外した状態）

【ランプ表示】

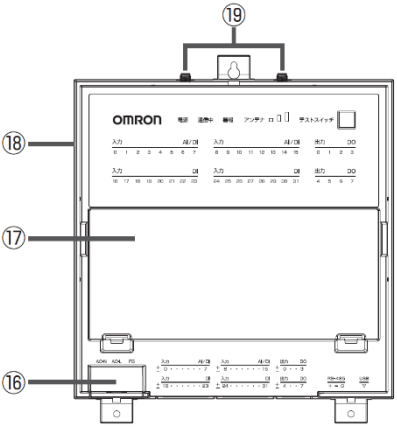
名称	表示(色)		状態
①電源ランプ	－	消灯	電源が入っていません。または停電動作中です。
	緑	点灯	電源が入っています。
②通信中ランプ	※1	点滅	ALLwatchセンタと通信中です。
		点灯	ALLwatchセンタと接続が完了しました。
③警報ランプ	－	消灯	異常ありません。
	赤	点灯	警報発生中です。
④アンテナランプ	緑	点灯	電波強度を3段階で表示します。 （2本以下のときは外部アンテナが必要） 子機の場合は子機No.を示します。
⑤入力ランプ	－	消灯	外部入力設定がOFFになっています。
	※2	点灯	外部入力設定がONになっています。
⑥出力ランプ	－	消灯	外部出力設定がOFFになっています。
	紫	点灯	外部出力設定がONになっています。

（※1 ）内部アンテナ使用時：緑、外部アンテナ使用時：青で点灯します。
（※2）デジタル信号：緑、アナログ信号：青で点灯します。

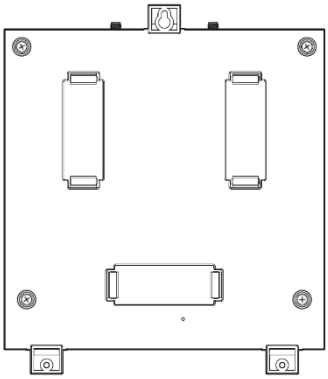
【スイッチ】

名称	説明
⑦テストスイッチ	ALLwatchセンタへの接続テストを行います。 （通報メールを送信します）
⑧パワースイッチ	主電源をON/OFFします。
⑨セレクトスイッチ	複数台接続時の親子関係を設定します。 （親機：0、子機：1～3）
⑩リセットスイッチ	リセット時にペン先などで押します。

名称	説明
⑪SDカードコネクタ	記録用SDカードを挿入します。 （SDカードは別途ご用意ください）
⑫UIM カードコネクタ	UIMカードを挿入します。（出荷時は挿入済です）
⑬電池コネクタ	停電通報用内部電池のリードコネクタを接続します。
⑭電池固定爪	停電通報用内部電池を保持します。
⑮製品ラベル	お問い合わせの際に必要な情報（ID番号、シリアル番号）が 記載されています。

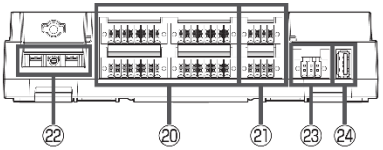


本体正面
（外カバー、内カバーを付けた状態）



本体裏面

名称	説明
⑯端子台カバー	端子台の活電部を保護します。
⑰内カバー	スイッチや電池収納部のカバーです。
⑱外カバー	透明の意匠カバーです。
⑲アンテナ端子	外部アンテナ（別売）を接続します。 （左側は受信用、右側は送受信用です）



本体下面

名称	説明
⑳入力端子	専用のソケットコネクタ（16P）を使用して外部機器と接続します。
㉑出力端子	専用のソケットコネクタ（8P）を使用して外部機器と接続します。
㉒電源端子	電源ケーブル、アース線を接続します。
㉓RS485端子	複数台接続時に専用のソケットコネクタ（6P）を使用して増設した 通報端末と接続します。（⇒**P.16**参照）
㉔USBコネクタ	（メーカ保守用）

5.設置・接続方法

■設置手順

- **設置場所へ行く前に通報メールの送信先を設定する**
  インターネットでALLwatchセンタにログインして、通報メールに関する設定作業が必要です。通報メールの設定方法については、ALLwatchセンタのホームページからALLwatchセンタにログインし、ALLwatchセンタよりマニュアルをダウンロードして参照してください。
  設定の際は、通報先設定画面で携帯電話等のメールアドレスを入力し、「テストSW」または「システムイベント」欄にチェックを入れ、［設定］ボタンをクリックしてください。
  その他のALLwatchセンタ設定は、設置前、設置後のどちらに設定してもかまいません。
- **入力機器、出力機器の接続に際しては、回路図を確認する**
  「6.入出力回路について」（**⇒P.14、15**参照）を参考にして入出力機器を接続してください。
- **使用しない入力端子、出力端子、RS485端子（⇒P.7参照）には、予め付属の目隠しラベルを貼り付ける**
  接続端子の汚損防止のため、付属の目隠しラベルを適切なサイズにカットし、各端子 に貼り付けてください。各端子ごとの推奨カットサイズは下記です。
  入力端子：11×35mm、出力端子：11×21mm、RS485端子：11×17.5mm

設置は次の手順で行います。

本体を壁面に取り付ける
▼
外カバー、内カバー、端子台カバーを外す
▼
ソケットコネクタ（16P/8P/6P）にケーブルを接続する
▼
ソケットコネクタを入力端子、出力端子、RS485端子に接続する
▼
停電通報用内部電池を接続する
▼
電源ケーブルを接続し、端子台カバーを取り付ける
▼
SDカードを挿入する
▼
電源を入れる
▼
テストスイッチを押して動作確認する
▼
内カバー、外カバーを取り付ける
▼
ケーブル類を整理し、クランプする

1 本体を壁面に取り付ける

付属のねじまたは、付属のマグネットで壁面に取り付けます。

【ねじで取り付ける場合】

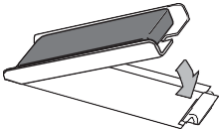
・3カ所のねじ取付穴を利用して壁面にねじ止めします。
・壁面が木材の場合は付属の木ねじを使用します。壁面の材質が木材以外の場合は、材質に合ったねじを別途入手して使用してください。

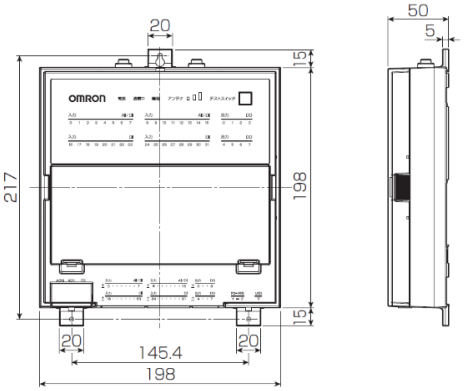
【マグネットで取り付ける場合(壁面が鋼板等の磁性体の場合)】

・本機裏面の3か所に付属のマグネットをはめ込み、壁面に固定します。

⚠ 注意

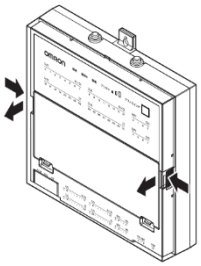
壁面の材質や状態に適した方法でしっかりと取り付ける。
機器が落下し、故障の原因になります。

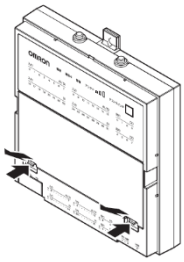


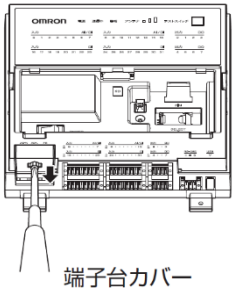


2 外カバー、内カバー、端子台カバーを外す

外カバー、内カバー、端子台カバーを取り外し、パワースイッチ（⇒P.6参照）がOFFであることを確認します。


外カバー


内カバー


端子台カバー

ご注意

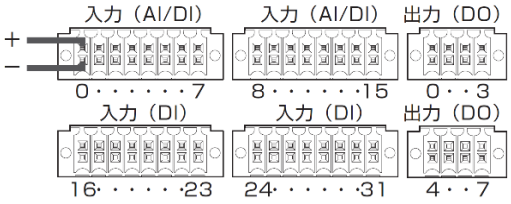
・**外カバー（透明）、内カバー（黒）は必ず両手で取り外してください。**
・**端子台カバーは安全上必要な部品ですので、紛失しないようにご注意ください。**

〈使用ドライバー〉
・(+)2番ビット

5.設置・接続方法（つづき）

3 ソケットコネクタ（16P/8P）にケーブルを接続する

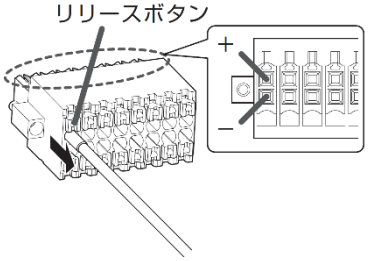
16Pコネクタ側には入力、8Pコネクタ側には出力信号線を接続します。
プッシュイン方式のコネクタです。
電線を突き当たるまで挿入します。
撚り線使用時はリリースボタンを押しながら挿入します。被覆剥き代は10mmです。
電線取り外し時はリリースボタンを押しながら引き抜きます。



・本機コネクタ部の＋－表示に合わせて信号線を接続してください。

〈使用可能なケーブル〉
・AWG24～16（0.205～1.31mm^2）
（フェルールを使用せず接続する場合）、長さ3m以下が目安です。

〈撚線用フェルール（スリーブ）について〉
電線のバラケを防止し、電気的接続の品質を安定させることができます。
・市販の絶縁カバー付きのフェルール（絶縁　カバーの外径が3.3mm以下のもの）を使用してください。
・フェルールサイズに適応した工具で圧着してください。

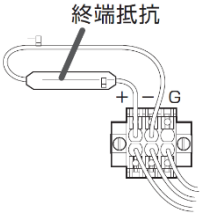


⚠注意

ケーブルを接続する前にソケットコネクタの向きを確認する。
端子No.極性を間違えると故障、誤動作の原因になります。

4 ソケットコネクタ（6P）にケーブルを接続する

プッシュイン方式のコネクタです。
電線を突き当たるまで挿入します。撚り線使用時はリリースボタンを押しながら挿入します。被覆剥き代は10mmです。
電線取り外し時はリリースボタンを押しながら引き抜きます。



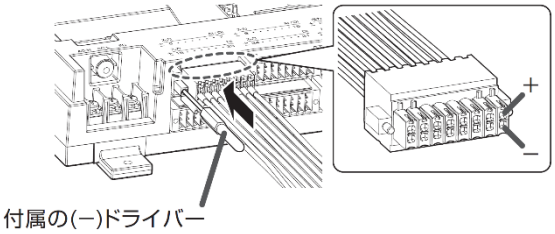
・子機を接続しない場合は、終端抵抗の接続は不要です。
（このコネクタは使用しません）
・子機増設時には、この端子を使って親機子機間を接続します。
具体的な親子接続の方法は、「8. 増設について」
（⇒P.16参照）をご覧ください。
・使用可能なケーブル、フェルールは、入出力用コネクタ（16P、8P）と同一です。

5 ソケットコネクタを入力端子、出力端子、RS485端子に接続する

配線済のコネクタを本機の入力端子、出力端子、RS-485端子に接続します。
（子機を接続しない場合は、RS-485端子は使用しません）
コネクタを奥まで差し込んで左右のねじで固定します。

〈使用ドライバー〉
・本機付属の(－)ドライバー

〈ねじの推奨締め付けトルク〉
・0.15N･m



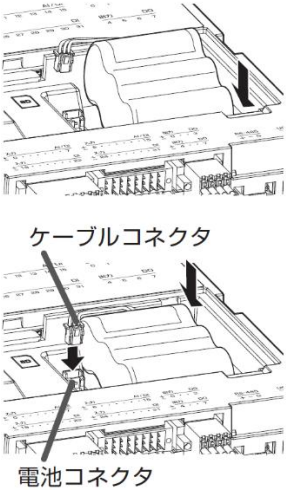
お願い	・本機の空コネクタ部は端子保護のため、付属のコネクタ目隠しラベルを適当なサイズにカットして貼り付けてください。

6 停電通報用内部電池を接続する

同梱の停電通報用内部電池を本機の電池用ポケットに収納し、ケーブルコネクタを電池コネクタに接続します。

お知らせ	・電池を接続せずに電源をONにした場合、電池なし異常通報メールが送信されます。(この状態で通常動作はしますが、停電通報はできません) ・停電通報をするためには、電池を接続後15時間以上の充電が必要です。

お願い	・必ず専用の停電通報用内部電池をご使用ください。専用電池以外は使用できません。



5.設置・接続方法（つづき）

7 電源ケーブルを接続し、端子台カバーを取り付ける

電源端子は、M4ねじ端子台です。
圧着端子を使用する場合は、必ず絶縁被覆付きの端子を使用してください。
AC-N、AC-L端子にAC100V、またはAC200Vの電源ケーブルを接続します。
FG端子はD種接地をします。
接続完了後に端子台カバーを取り付けます。

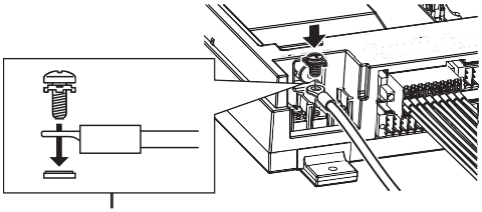
〈使用可能なケーブル〉
・AWG18～16（0.823～1.31mm^2）

〈使用ドライバー〉
・（+）2番ビット

〈ねじの推奨締め付けトルク〉
・端子台：1.2N･m
・端子台カバー：0.6 N･m

⚠警告

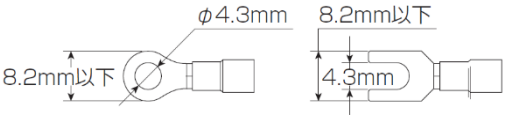
❗	配線作業前に給電元ブレーカをOFFにする。（活電作業はしない） 感電の原因になります。
❗	配線完了後は必ず端子台カバーを取り付ける。 感電の原因になります。

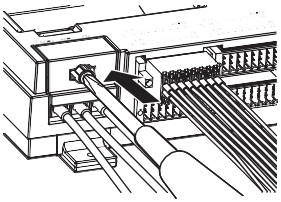


電線カシメ側を端子台側にする

＜圧着端子＞

圧着端子を使用する場合には、
下記仕様の絶縁被覆付き端子をお使いください。





8 SDカードを挿入する

SDカードコネクタ（⇒P.6、7参照）に別途準備したSDカードを挿入します。
・カード挿入方向、表裏を間違えないようご注意ください。
・カチッと音がする位置まで確実に挿入してください。もう一度押すと排出されます。
・使用可能なSDカードの容量は、2～32GB（SD･SDHC）です。

9 電源を入れる

パワースイッチ（⇒**P.6**参照）をONにして本機前面のランプの動作を確認します。
本機前面の次のランプが点灯/点滅します。
（注）すべての配線が完了するまで、パワースイッチをONにしないでください。



パワースイッチをON	電源ランプが「点灯」
ALLwatchセンタと通信中	通信中ランプが「点滅」 ※内部アンテナ使用時は緑、外部アンテナ使用時は青点灯
ALLwatchセンタとの通信正常	通信中ランプが「点灯」

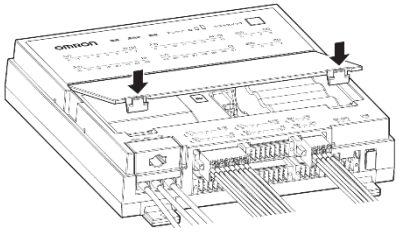
10 テストスイッチを押して動作確認する

通信中ランプが点灯した後にテストスイッチを押すと、即時に通報メールが送信されます。
本機の入力状態を携帯メールまたはALLwatchセンタ画面で確認します。
詳しくはホームページからマニュアルをダウンロードしてご覧ください。

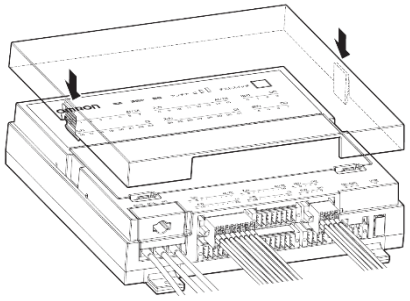
11 内カバー、外カバーを取り付ける

内カバー、外カバーを取り付けます。

・矢印部を押して本体にはめ込みます。



内カバー



外カバー

12 ケーブル類を整理し、クランプする

配線、テスト送信完了後、ケーブル類を適宜クランプします。

・本機の端子部に機械的負荷がかからないようにケーブルを処理してください。
・ケーブル長に余裕を持たせてクランプしてください。

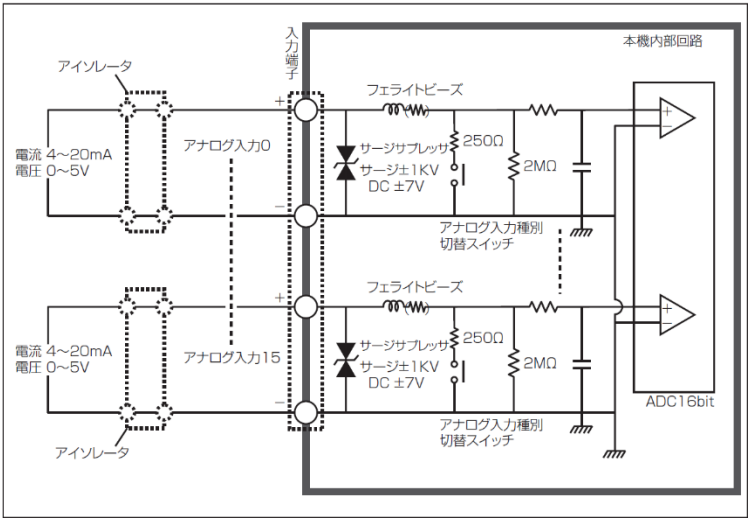
6.入出力回路について

■ 入力回路

汎用入力機器を接続する場合は、下記の回路図を参考にしてください。

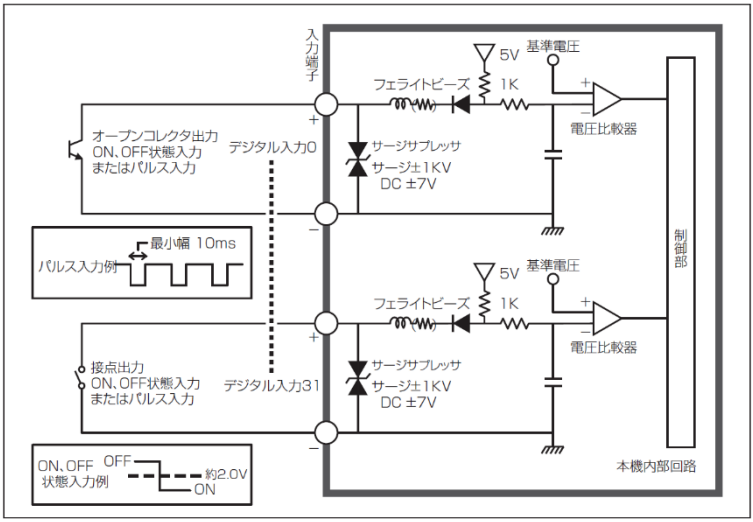
- **アナログ入力**

  各入力端子のGNDは内部回路にて共通化されています。したがって、出力側の機器が＋側で共通となっている場合は接続できません。このような機器と接続する場合は、アイソレータを使用してください。



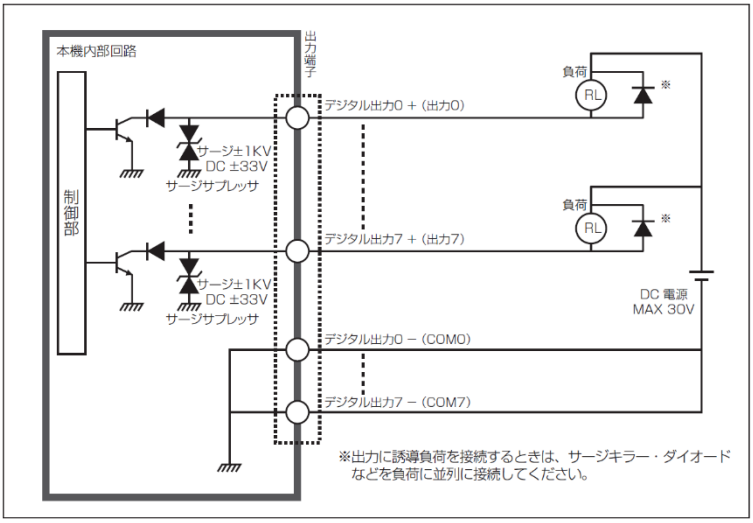
- **デジタル入力**

  各入力端子のGNDは内部回路にて共通化されています。



■ 出力回路

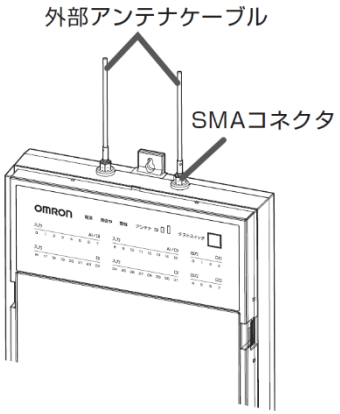
汎用出力機器を接続する場合は、下記の回路図を参考にしてください。



7.外部アンテナについて

本機には内部アンテナが搭載されていますので、 LTEの電波強度が強い環境では外部アンテナなしで使用できます。
LTEの電波強度が弱い（アンテナランプ（⇒**P.6**参照）が2本以下）場合は、アンテナ端子に外部アンテナを接続してください。

- 接続の際は必ずパワースイッチをOFFにしてください。
- 本機を親子接続で使用している場合、 電波強度は親機のみに表示されます。(子機は子機No.を表示)
- 外部アンテナは2本接続できます。
  1本のみ接続する場合は、 向かって右側の端子に接続してください。
- SMAコネクタは専用の工具で締め付けてください。
- 内部/外部アンテナの切り替えは機器自身が判断して自動で行われます。



〈推奨外部アンテナ〉

・FOMA アダプタ用ルーフトップアンテナ 02

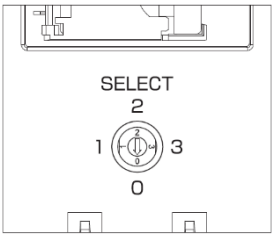
〈SMAコネクタの推奨締め付けトルク〉

・0.8N･m

8.増設について

本機は最大3台増設して使用することができます。
（親機1台＋子機3台）

機器増設時はセレクトスイッチで親子関係を設定し ます。（－）ドライバーでスイッチの矢印の向きを変えてください。（親機：0、子機：1～3）

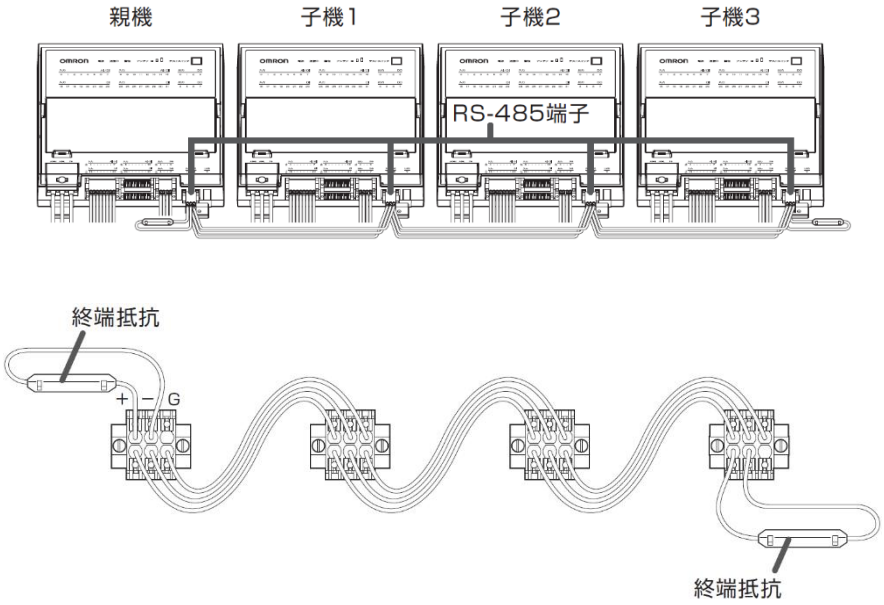


ソケットコネクタ（6P）を使用して親機と子機のRS-485端子を下図のように接続してください。終端抵抗は親機と最下位の子機に接続します。
ケーブル被覆の剥き代は10mmです。

〈使用可能なケーブル〉
・AWG24～16（0.205～1.31mm^2）長さ10m以下

〈使用ドライバー〉
・本機付属の（－）ドライバー

〈ねじの推奨締め付けトルク〉
・0.15N･m



9.廃棄方法と電池のリサイクル

■ 廃棄方法

本機および付属品を廃棄する場合は、次のとおり処理してください。

□本機および付属品

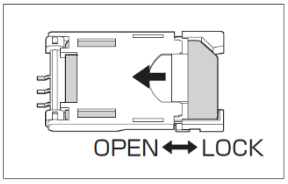
本機からUIMカードと停電通報用内部電池を取り外し、 各地方自治体の指示に従って処理してください。

□UIM カ ー ド

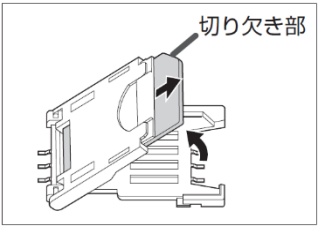
UIMカードコネクタには、LTEデータ通信UIMカードが挿入されています。
このカードの所有権は株式会社NTTドコモにあります。廃棄時には当社にご返却ください。

＜UIMカードの取り外し方＞

① カードホルダのスライダを OPEN方向に移動します。



②カードホルダごとSIMカードを起こして抜き取ります。



※ SIMカードを取り付ける場合は、カードのセット方向にご注意ください。
カードホルダを閉めた後、スライダをLOCK方向に移動します。

■ 電池のリサイクルについて

本機に使用している停電通報用内部電池（ニッケル水素電池）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池はリサイクルへご協力ください。
交換用の停電通報用内部電池のお求めの際は、「お問い合わせ先」（⇒P.21参照）までご連絡ください。



不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

⚠注意

電池はショートしないでください。火災・感電の原因となります。	
電池の外装カバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。	
電池を分解しないでください。	

10.よくある質問（FAQ）

代表的なご質問について記載しています。

ご質問	回答
ときどき警報ランプが点滅します。	電源ON後4分間程度は点滅することがありますが、故障ではありません。それ以上続く場合は、LTE通信ができていない可能性がありますので、電波状況が良くなるように本機の取り付け位置を調節してください。
携帯電話では十分な電波強度を示しているのに、本機のLTE通信がうまくできません。	電波の状態を調査する必要がありますので、「お問い合わせ先」（⇒**P.21**参照）へご連絡ください。
アンテナランプが点灯したり、消灯したり、するのはなぜですか。	電波強度が変動しています。ランプが頻繁に1～2個の点滅になるようであれば、外部アンテナの取り付けを検討してください。
配線したのに入力ランプが点灯しません。	ALLwatchセンタの端末設定で、入力が動作する設定になっているか確認してください。
テストスイッチを押したのにメールが届きません。	以下の設定を通報先設定画面で確認してください。 ・メールアドレス、通信時間帯、曜日が正しいいか。 ・「テストスイッチ」 または 「システムイベント」 がチェックされているか。 携帯電話等の迷惑メール防止機能が有効になっていれば解除してください。
USB端子に接続できる機器は何があるでしょうか。	メーカ保守用のためご使用できません。 USB機器を接続しないでください。
SD･SDHC（2G～32G）以外のSDカードを使用できますか。	指定以外のSDカードは使用できません。
SDカードはいつ抜き差ししても大丈夫ですか。	大丈夫です。書き込み中のデータがあった場合は、正常に記録できない場合が有ります。
動作中にソケットコネクタを抜き差しするとどうなりますか。	故障の可能性が皆無ではないので、お勧めできません。 パワースイッチOFF状態での配線作業をお願いします。

11.オプション品

オプション品をお求めの際は、「お問い合わせ先」（⇒**P.21**参照）までご連絡ください。

・外部アンテナ（FOMA アダプタ用ルーフトップアンテナ 02）

12.主な仕様

【本体】

項目		仕様	備考
アナログ入力（入力0～15）	接点数	非絶縁 16点（ペアGND接点）	個別にデジタル入力への切り替え可能
	計測範囲	電流計測モード：0～20mA	入力インピーダンス：250Ω
		電圧計測モード：0～5V	入力インピーダンス：2MΩ
	測定精度	±1.0%FS（周囲温度23±5℃）	
	測定間隔	10ms	
デジタル入力（入力0～31）	接点数	非絶縁 32点（ペアGND接点）	入力0～15はアナログ入力と兼用
	接続先条件	無電圧接点または、オープンコレクタ	[入力方式] パルス入力：ON時間積算、パルス積算 イベントトリガ入力（ON/OFF変化）
	入力方式	Source型入力	
	検出範囲	ON電圧：2.0V以上	
		OFF電流：0.1mA以下	
		パルス幅：10ms以上	
デジタル出力（出力0～7）	接点数	オープンコレクタ出力 8点（ペアGND接点）	[出力方式] パススルー：入力をそのまま出力 ALLwatchセンタ連動 ：ALLwatchセンタ指示内容の出力 警報連動 ：機器警報時に出力
	最大負荷電圧	DC30V	
	最大負荷電流	100mA/1点、400mA/8点	
	ON時残留電圧	1.0V以下	
	OFF時漏れ電流	0.1 mA以下	
電源監視	停電検知	AC 0V 1s以上	2次側回路電圧で監視
	復電検知	AC 90V以上	
通報	テスト通報	テストスイッチ押下時に通報	
	定期通報	通報間隔：10分～1,440分 （1分単位で設定）	
	停電通報	停電時に1回通報	内部電池で駆動
	送信先設定	ALLwatchセンタで設定	複数設定可
	停電時動作時間	10分以上	新品電池、満充電時
通信	通信網	NTTドコモ LTE網	
	プロトコル	TCP/IPv4	
	速度	上り 128kbps、下り 128kbps	
	規格	LTEカテゴリー1	
	アンテナ	内部2/外部2（何れかを自動選択）	外部アンテナ端子：SMAコネクタ×2
ログ機能	メモリ	CPU内部SRAM：640kb	リングメモリ（上書き）
		CPU外付け FRAM：125kb	リングメモリ（上書き）
		外部SDカード（SD･SDHC）：2G～32GB	記録形式:CSV、リングメモリ（上書き）
	記録項目	[CPU内部SRAM] 各計測データ、端子状態、温度、内部電圧 [CPU外付け FRAM] エラー履歴 CPU内部エラー、電池電圧 [外部SDカード] アナログ入力データ（瞬時値）	

12.主な仕様（つづき）

項目	仕様	備考
電源電圧	AC100～200V±10% 50/60Hz	
消費電力	10W以下（AC100V）	
ヒューズ	AC250V 3A	機器内部に2個搭載
使用環境	−10～60℃、25～85%RH	内部電池の充電は、−10～55℃
保存環境	−20～70℃、25～85%RH	内部電池は、−20～35℃（1年以内）
外形寸法	W198×H198×D50mm	外部アンテナ端子、ねじ取付部を含まず
質量	950g以下	電池を含まず
設置方法	木ねじ、またはマグネットで壁面に取り付け	使用木ねじ呼び径：3.1mm
規格認証・適合対象機種	本製品には、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則第2条第1項第11号の19に規定される以下の設備が組み込まれています。 ・機器名称：LARA-R220 ・工事設計認証番号：003-170219	

【付属品】

品名	型名/規格	仕様	備考
停電通報用内部電池	BAT-N001（本機専用品）	Ni-MH二次電池（2500mAh）	
UIMカード	ドコモ UIMカード	LTEデータ通信カード（標準サイズ）	本機に装着済み
終端抵抗	（本機専用品）	120Ω0.25W±5%	RS485端子用
木ねじ	（汎用品）	丸頭、呼び径：3.1、長さ：15	本機固定用
マグネット	（本機専用品）	異方性Srフェライトマグネット	本機固定用
アンテナ端子キャップ	（本機専用品）	材質：シリコーンゴム（ブラック	本機に装着済み
USBコネクタキャップ	（本機専用品）	材質：PP（グレー）	本機に装着済み
ソケットコネクタ	ワイドミュラー 1277740000	B2CFシリーズ16ピン	入力端子用
ソケットコネクタ	ワイドミュラー 1277680000	B2CFシリーズ8ピン	出力端子用
ソケットコネクタ	ワイドミュラー 1277670000	B2CFシリーズ6ピン	RS485端子用
ドライバー	（本機専用品）	(−)先端サイズ：1.8×0.3	ソケットコネクタ固定用
コネクタ目隠しラベル	（本機専用品）	材質：PCシート（ブラック）	空コネクタ端子保護

13.お問い合わせ先

メールアドレス：support@allwatch.jp

フリーダイヤル：0120-053-606
対応時間：当社営業日 9:30～17:30 (12:15～13:00除く)

お電話の前に、以下の内容をご用意ください。
(1) 本製品の ID No.（特に本製品の ID No.は必須です。ID No.は本体正面のラベルに記載されています。）
(2) トラブルが発生する前または直前に行った動作
(3) トラブルがどれくらいの頻度で発生するか
(4) その他お気づきの点

オムロン ソーシアルソリューションズ株式会社
〒108-0075 東京都港区港南2-3-13 品川フロントビル７階
■電話番号0120-053-606
■ホームページ
https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/allwatch/